

平成28年度観光関連主要事業の概要

資料3

行ってみたい神奈川の観光魅力づくり

1 目的

神奈川県を訪れる入込観光客数を平成30年に2億人、外国人旅行者の本県への年間訪問者数を平成30年に201万人とする目標を達成するため、横浜、鎌倉、箱根及び「新たな観光の核づくり」の構想地域として県が認定した地域などを周遊するルートを開発するとともに、神奈川県の魅力の世界にアピールし、また、安心して旅行ができる環境づくりを行う。

2 予算額 総額 442,377千円
 (28年度当初予算額 265,277千円、27年度2月補正予算額 177,100千円)

3 主な事業内容

区分	主な事業名及び事業概要	28年度当初予算額 (27年度2月補正予算額)
(1) 魅力ある観光地の形成		223,860千円 (177,100千円)
ア 観光資源の発掘・磨き上げ		184,800千円 (153,486千円)
① 外国人観光客の誘致促進（再掲）	外国人観光客を誘致するため、インバウンドツアーの企画・商品化を行うとともに、パンフレット・SNS・現地メディアを活用した情報発信、海外メディア・旅行代理店等の招請、国際観光展への出展、近隣都県等と連携した共同プロモーションを実施する。	(112,648千円)
② 外国人観光客ニーズ分析・調査等事業費	外国人観光客の動態の把握や、細かいニーズを分析するため、携帯電話やWi-Fi等で通信した際の位置情報を活用した動態調査や、アンケート調査・SNS等の投稿分析などを実施する。	(30,838千円)
③ 新たな観光の核づくり事業費	横浜・鎌倉・箱根に次ぐ第4の国際観光地を創出するため、「新たな観光の核づくり」の構想地域として県が認定した3地域（城ヶ島・三崎地域、大山地域、大磯地域）等の活性化に向け、先導的な役割を果たすと認められる事業の経費に対して補助する。	76,000千円
④ 国内観光客誘致促進事業費	宿泊観光客の増加を図るため、横浜、鎌倉、箱根及び「新たな観光の核づくり」の構想地域等をつなぐ広域的な体験型・滞在型ツアーを造成・商品化するとともに、動画による観光情報の発信等を促進する。	35,000千円
⑤ マグネット・カルチャー推進事業費 【マグカルの推進】	ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、「ミュージカルあふれる神奈川」を中心に据えた、魅力的なマグカル事業コンテンツの創出と、そうしたコンテンツの担い手となる人材の育成を行う。	70,000千円 (10,000千円)
⑥ 商店街観光案内所機能導入事業費	体験型・滞在型ツアーに商店街ツアーを盛り込み、商店街のお勧めの店、グルメ、土産物に加え、周辺の観光スポット等の情報を盛り込んだパンフレット等を作成し、商店街のコミュニティスペースで配付する。	1,300千円
⑦ 商店街観光推進事業費	ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、商店街の「外国人おもてなし度」の向上や、外国人向けの情報発信の充実を図る。	2,500千円
イ 戦略的プロモーションの推進		39,060千円 (112,648千円)
⑧ 外国人観光客の誘致促進	外国人観光客を誘致するため、インバウンドツアーの企画・商品化を行うとともに、パンフレット・SNS・現地メディアを活用した情報発信、海外メディア・旅行代理店等の招請、国際観光展への出展、近隣都県等と連携した共同プロモーションを実施する。	(112,648千円)
⑨ 観光プロモーション推進事業費補助	国内観光客の誘致を図るため、県の多彩な観光魅力をホームページ等で広く情報発信するとともに、観光展への出展や観光キャラバンの実施など現地でのプロモーションを実施する。	30,190千円
⑩ 共同観光キャンペーン推進事業費	国内観光客の誘致を図るため、市町村、各観光協会、民間事業者と連携して、観光キャンペーンを集中的に実施する。	8,870千円

区分	主な事業名及び事業概要	28年度当初予算額 (27年度2月補正予算額)
ウ	受入環境の整備	(23,614千円)
⑪	外国人観光客受入環境整備事業費 外国人観光客が快適に旅ができる環境を整備するため、ICTを活用した多言語化支援を行うとともに、外国人観光案内所等の機能強化や、おもてなし人材の育成などを行う。	(23,614千円)
(2)	観光関連産業の成長促進	41,417千円
⑫	かながわ産品販路開拓事業費補助 「かながわの名産100選」など地域の特色ある名産品(かながわ産品)の普及推進、販路開拓を図るため、物産展事業等の開催経費に対して補助する。	19,125千円
⑬	かながわ産品アンテナショップ運営委託事業費 かながわ産品の普及や観光客の増加を図るため、かながわ産品の展示・販売の場を整備し、情報発信や消費者ニーズを把握する。	13,859千円
⑭	クラウドソーシング活用型新商品開発支援事業費 県産品の発信力向上を図るため、全国の消費者・生活者のアイデア・知恵を集めるウェブ上のプラットフォームを保有する企業と連携し、中小企業者の新商品開発や販売促進策を支援する。	8,000千円
⑮	農産物観光資源化促進事業費 地域の農業資源を活用し、交流人口の増加による農業振興を図るため、市町村等に対し観光農業に関する知識や推進手法等の習得を支援する。	433千円
合 計		265,277千円 (177,100千円)

一部

新 ⑤ マグカル(マグネット・カルチャー)の推進

平成28年度当初予算額 70,000千円
平成27年度2月補正予算額 10,000千円

～「ミュージカルあふれる神奈川」を中心に据えた取組み～

神奈川発のオリジナルミュージカル「スキヤキ・ソング」を世界に発信するプロジェクトなど魅力的なコンテンツの創出と、その担い手となる人材の育成を行う。

また、国際観光戦略の有力なコンテンツとするため、神奈川オリジナルの「地劇※」ミュージカルを公募し、優秀作品に公演の場を提供していく。

※「地劇」：地域ゆかりの人物や伝統・歴史を題材にした地域発のオリジナル舞台芸術

【「ミュージカルあふれる神奈川」に向けた取組み】

- ・「スキヤキ・ソング」世界発信プロジェクト
- ・ベトナム交流プロジェクト
- ・「地劇」ミュージカルの選考及び支援(2月補正予算事業)

【地域の魅力の掘り起こしと発信】

- ・リ・古典プロジェクト
- ・アーティスト・イン・レジデンス
- ・マグカル・プロモーション

【マグカルを担う人づくり】

- ・パフォーマンスアーツ・アカデミー
- ・マグカル劇場
- ・短編演劇の全国大会 等



<パフォーマンスアーツ・アカデミーの様子>

問い合わせ先

【④、⑨、⑩、⑫～⑭】

【①、②、③、⑧、⑪】

【⑥、⑦】

【③】

【⑤】

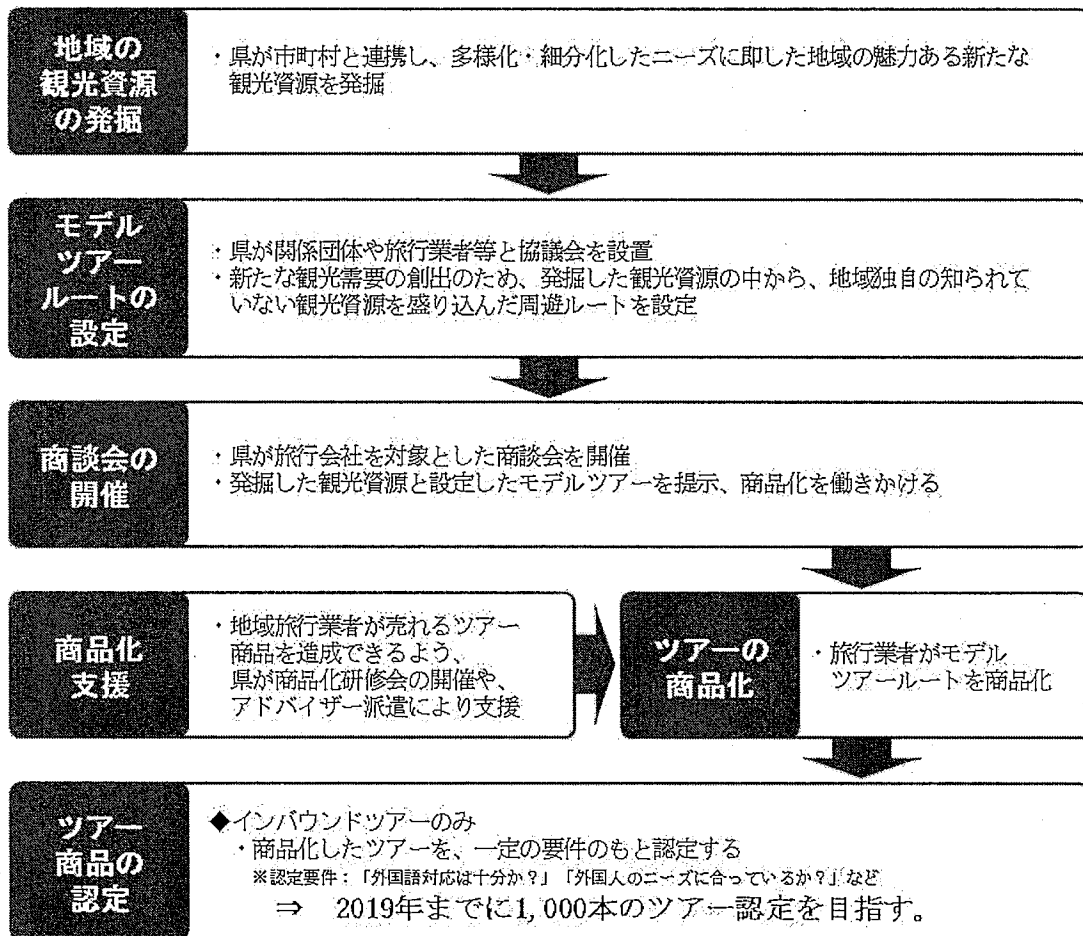
【⑮】

産業労働局観光部観光企画課	課長 八尋	電話 045-210-5760
産業労働局観光部国際観光課	課長 脇	電話 045-210-4015
産業労働局産業部商業流通課	課長 草野	電話 045-210-5600
政策局自治振興部地域政策課	課長 能勢	電話 045-210-3250
県民局くらし県民部文化課	マグカル担当課長 立石	電話 045-285-0289
環境農政局農政部農政課	課長 西田	電話 045-210-4401

一部(新)外国人観光客の誘致促進・(新)国内観光客誘致促進事業費

	外国人観光客の誘致促進	国内観光客誘致促進事業費
1 目的	外国人観光客を誘致するため、インバウンドツアーの企画・商品化を行うとともに、プロモーション活動を実施	宿泊観光客の増加を図るため、広域的な体験型・滞在型ツアーを造成・商品化するとともに、動画による観光情報を発信
2 予算額	112,648千円	35,000千円
3 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ インバウンドツアーの企画・商品化 ラグビーワールドカップ2019決勝戦の海外観戦者約4万人を観光客として誘致するため、インバウンドツアーの企画・商品化を促進 ○ 戦略的なプロモーション 国際観光戦略の基本コンセプトの構築、コンテンツの制作を行うとともに、ターゲット国を明確に定めたPRを展開 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験型・滞在型ツアーの造成・商品化 大手旅行者に頼らず、地域旅行者が観光資源を磨き上げて旅行商品化・販売し、地域に利益を還元するビジネスモデルの普及促進 ○ 観光情報の発信強化 “いざ神奈川”のコンセプトをベースとした映像等を制作し、宿泊観光が見込まれるエリアを中心にPRを展開

(参考) 外国人観光客を対象としたインバウンドツアー
国内観光客を対象とした体験型・滞在型ツアーの企画・商品化のフロー図



問い合わせ先

外国人観光客の誘致促進

国内観光客誘致促進事業費

産業労働局観光部国際観光課

産業労働局観光部観光企画課

課長 脇

課長 八尋

電話 045-210-4015

電話 045-210-5760

新

外国人観光客ニーズ分析・調査等事業費

1 目的

P D C Aによる効果的な施策展開を行うため、流動分析・ニーズ分析等を実施し、外国人観光客に関する観光データの整備を図る。

2 予算額

30,838千円(27年度2月補正予算額)

3 事業内容

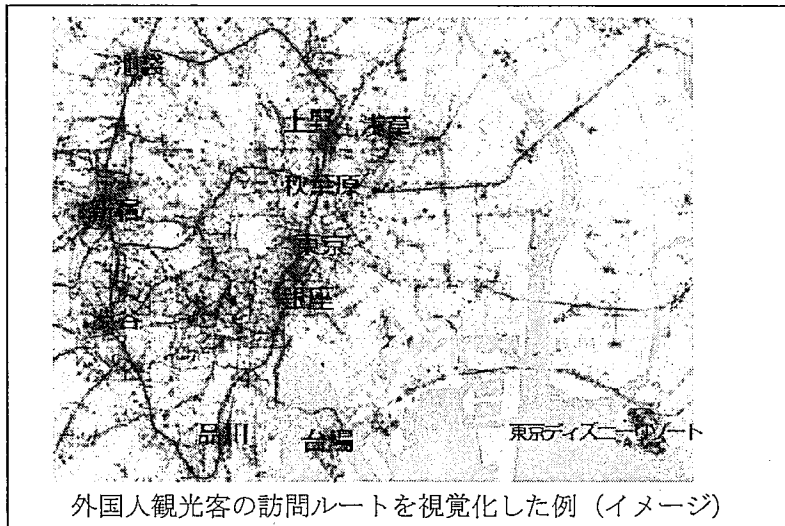
携帯電話の位置情報・SNSの投稿内容等の分析やアンケート調査等を実施することにより、ニーズ等を把握し、プロモーションや受入環境整備に活用する。

(1) 動態調査

ア ローミングデータ、Wi-Fi及びGPSデータ分析

外国人観光客が利用した、携帯電話の位置情報や、スマートフォン向けアプリで接続したFree Wi-FiやGPSの位置情報を分析する。

[把握できる情報] 地域・季節・時間帯ごとの観光客数、国籍、周遊ルート



外国人観光客の訪問ルートを視覚化した例(イメージ)

出典 観光庁

(2) 消費額・ニーズ分析

ア 外国人観光客へのアンケート調査

空港・港・観光案内所等で、外国人観光客へのアンケート調査を実施する。

[把握できる情報] 観光消費額、ニーズ(困ったこと・欲しいもの)等

イ SNSデータの分析

外国人観光客がSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)で投稿した内容を分析する。

[把握できる情報] 多くの外国人観光客が関心を持った内容

ウ ホームページのアクセスデータ分析

日本を訪れる前の外国人が閲覧したホームページのアクセス数を分析する。

[把握できる情報] 日本を訪れる前に外国人が見た、探した情報

問い合わせ先

産業労働局観光部国際観光課 課長 脇 電話 045-210-4015

1 目的

多言語化の支援、外国人観光案内所等の機能強化、おもてなし人材の育成などの実施により、外国人観光客が安心して快適に、移動・滞在・観光することができる受入環境を整備する。

2 予算額

23,614千円 (27年度2月補正予算)

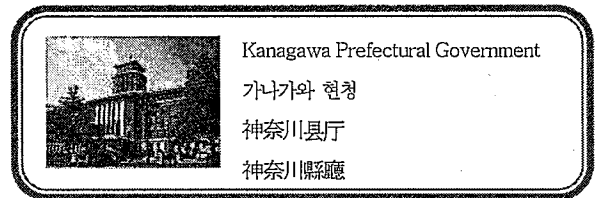
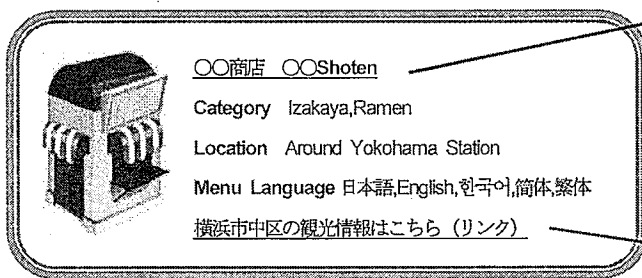
3 事業内容

(1) ICTを活用した多言語化支援

ア 飲食店のメニュー多言語化支援

メニューの多言語化支援システム(※飲食店のメニューを自動翻訳)を運営するとともに、多言語化した情報を掲載したポータルサイトに、周辺の観光情報を提供する機能を追加することにより、外国人観光客の周遊性を高める。

(イメージ)



イ 案内板等の多言語化モデル事業

AR技術を活用し、案内板等に設置したタグにスマートフォンをかざすことで、画面に多言語情報を表示させ、観光地の景観を損なうことなく多言語化を行う。

※AR : Augmented Reality/拡張現実



(2) 外国人観光案内所等の機能強化

ア Free Wi-Fi 導入の整備促進

外国人観光客の周遊を促す拠点である外国人観光案内所等の機能強化を図るため、県内の外国人観光案内所等へのFree Wi-Fi等の導入に補助する。

イ ロボット等の導入

羽田空港6県市観光情報センターにロボットを導入し、観光情報を提供することにより、利用促進を図る。

ウ 観光マイスター制度によるボランティアの育成

おもてなし人材の育成を図るため、県内事業者(タクシー運転手、宿泊施設、観光施設等)に基礎的な外国人観光客のおもてなしのスキルを身につけてもらう研修会を開催する。

(3) 外国語版ホームページの運営・更新等

神奈川の多彩な魅力を多くの外国人観光客に知ってもらい、関心や興味を持ってもらうとともに、快適な旅をサポートするため、外国語版ホームページの運営・更新を行う。

問い合わせ先

産業労働局観光部国際観光課 課長 脇 電話 045-210-4015